

YACかわら版754

噴煙と山火事の煙

前号で、センチネル5Pの観測データで、クラカタウ火山の噴煙の二酸化硫黄とエアロゾルを確認できましたが、スンダ海峡北側のカリマンタン島周辺の一酸化炭素に関心をもちました。本号では、カリマンタン島の一酸化炭素を探ります。カリマンタン島では8月になって一酸化炭素が観測され始めました。センチネル5P観測範囲を気象衛星スオミNPPが観測しています。

スオミNPP衛星は11月1日に観測を終了しますが、センチネル5Pの約3.5分後にスオミNPPが観測して、センチネル5Pの観測精度をあげているそうです。⑥

カリマンタン島上空の白いものは、雲だけではないようです。火山噴火の白い噴煙でないものですから山火事の煙でしょうか。スオミNPP観測による「火事・高温」レイヤーをワールドビュー使って重ねてみました。ワールドビューでは熱源表示をタップすると位置情報が表示されます。この位置情報を使ってセンチネル2の山火事レイヤーで山火事現場が確認できました。

(運よく、センチネル2の観測が重なっています) ①②③

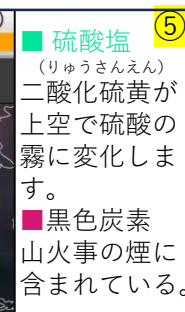
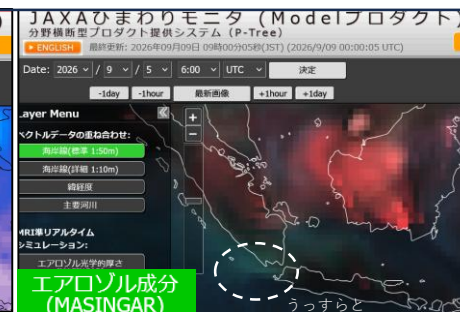
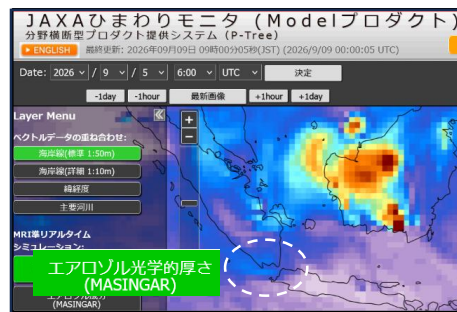
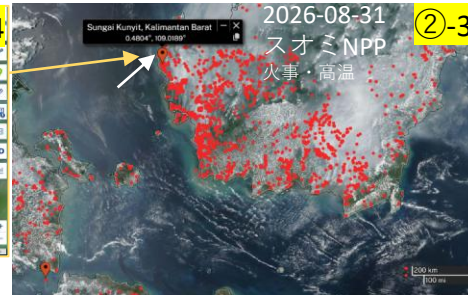
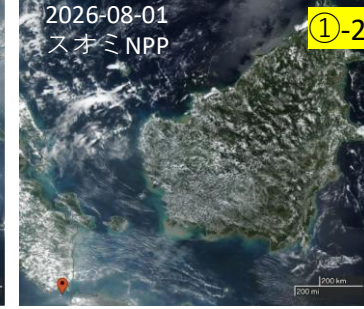
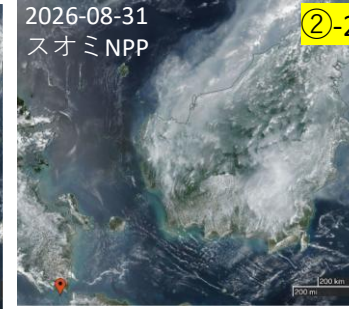
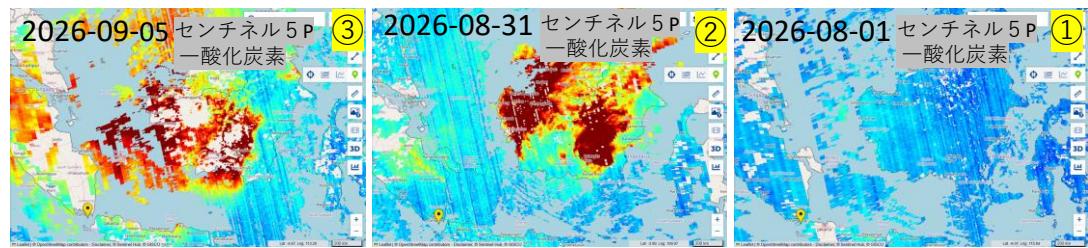
一連の作業をする中で、「インドネシア共和国カリマンタン島地域で発生している森林火災による被害を受け...」という外務省の報道発表を思いだしました。

https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/pressit_000001_04103.html

このニュースの背景説明では「インドネシアには熱帯泥炭地の30%があり、その3分の1はカリマンタンにある...。エルニーニョ等の影響で極度に土地が乾燥し泥炭が燃えている...」と言及していました。④

カリマンタン島のダストは山火事が原因でした。

山火事の煙とクラカタウ火山の噴煙とを区別するにはJAXAひまわりモニタのモデルプロダクトが便利です。9月5日06:00を例示します。⑤



ネパールの土石流やインドネシアの山火事は地球的な視野で考える必要があります。そのとき、衛星データは考える翼になります。

